

第2回

岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する重症心身障がい児が年々増加し、多くが在宅生活を送るようになっていきます。しかし、その支援を行うための医療・福祉などの社会資源は限られており、連携も不十分な状況にあります。岐阜県では、自宅で生活する障がい児（者）に対する医療・福祉サービスの充実を図るため、医療・看護・福祉・教育・行政などの関係者が一堂に会し、課題の解決に向けて知恵を出し合うとともに、顔の見える関係をつくる場づくりを目指し、岐阜県小児在宅医療研究会を開催しています。第2回は「NICUからの在宅移行支援」をテーマに開催します。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

テーマ NICUからの在宅移行支援

日時 平成26年6月29日（日） 13:00～17:00（開場 12:30）

場所 岐阜グランドホテル 西館2階「月の間」
（岐阜市長良648）

定員
200名様
（先着順）
参加無料

プログラム

13:00～13:05 **開会あいさつ**

石原 佳洋 岐阜県健康福祉部長

13:05～14:05 **基調講演1**

「在宅障がい児支援の現状と課題～大阪における取組み」

船戸 正久 大阪発達総合療育センター フェニックス園長

14:05～14:55 **基調講演2**

「NICUからはじめる在宅移行支援～当事者の立場から」

亀井 智泉 長野こども療育推進サークルゆうテラス代表

15:10～16:55 **パネルディスカッション「在宅移行の現場における取組と課題」**

座長 河野 芳功 岐阜県総合医療センター新生児医療センター長

・報告：15:20～16:20

①「NICUからの退院支援」

野村 彩 大垣市民病院 新生児集中治療室 新生児集中ケア認定看護師

②「ハイリスク環境にある家族への支援～超低出生体重で出生した児の再入院を経験して～」

丹羽 尚美 岐阜県立多治見病院 新生児集中治療室 新生児集中ケア認定看護師

③「長良医療センターにおける在宅移行への取組みと課題」

舘林 宏治 国立病院機構長良医療センター小児科医長

④「NICU入院児へのソーシャルワークの現状と課題」

中村 仁隆 岐阜県総合医療センター 医事課兼退院調整室医療ソーシャルワーカー

・ディスカッション：16:20～16:55

16:55～17:00

県からの報告・閉会あいさつ

都竹 淳也 岐阜県障がい児者医療推進室長

主催：岐阜県

後援：岐阜県医師会・岐阜県小児科医会・岐阜県歯科医師会・岐阜県看護協会
お問い合わせ（事務局）：岐阜県健康福祉部地域医療推進課 障がい児者医療推進室
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL (058) 272-8279 FAX (058) 278-2871